



大石小 Times



今年度最初の朝会がありました。

5月になりました。新緑が美しい季節です。爽やかな気候を楽しみたいところですが、近頃は朝と昼の気温差が大きく、体調管理が難しいですね。これも温暖化の影響なのでしょう。ちょうどいい季節が年々短くなっているような気がします。とはいえ、大石っ子たちは元気です。各学年の様子は「先生の言葉」で随時お伝えします。

今年度初めての朝会を行いました。私からは、学校の「教育目標」についてお話をしました。教育目標というと、教師側のめあてのように捉えられがちですが、教員だけで学校をつくることはできません。学校は子どもたちを中心に、教員や保護者、地域がそれを支えて成り立っています。子どもも、保護者も、教員も、地域のみなさんも、みんなでどんな学校にしていきたいかを共有して、そこをめざし、応援していただけると嬉しいです。

大石小学校 教育目標

ともに学び ともに育つ

学ぶたのしさ

みんなが
楽しい学校

がんばるたのしさ

つながるたのしさ



のびるたのしさ

あか ほか ころゆた こ 明るく朗らかで心豊かな子



きもちのよいあいさつ



いじめ・さバツ



おもいやりの心



安心していられる学校・学級に

しんしん けんこう こ 心身ともに健康でたくましい子



あそび・うんどう



すいみん

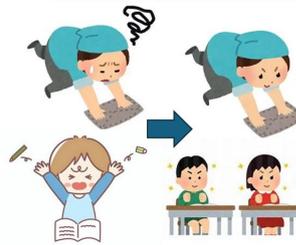


しょくじ



根気よくがんばる のりこえる力

みずか かんが そうぞう こ 自ら考え 創造しようとする子



自分の耳できいて 目でみて やってみて かんがえる。

チャレンジをたのしんで!



明るく、たくましく、自分で考えられる大石っ子になってほしいです。



校歌斉唱 とても気持ちの良い大きな歌声でした。お話を聞く態度もとても立派です。6年生は片付けも進んでしてくれました。



生徒指導 田畑先生のお話です。今月のめあては「学校をきれいにしよう」です。掃除の時間を大切に、気がついたらゴミを拾い、身の回りを整頓して心もきれいに!と話されました。



スピーチタイム 今月のテーマは「わたしのクラス自慢」です。元氣、切り替えが早い、男女仲がいい、人のことを考えられる、明るく素直などたくさんのクラス自慢が聞けました。

本校のスクールプランです。昨年度までのよいところは継承し、さらに昨年度末に行った学校評価をもとに、今年度取り組みたいことをまとめました。ぜひご一読ください。



令和7年度 坂井市立大石小学校 スクールプラン

学校教育目標 とともに学び とともに育つ

- 保護者・地域の願い
- 明るく元気に挨拶のできる子
 - 思いやりをもち助け合う子
 - 楽しく主体的に学ぶ子
 - 心身ともに健康な子
 - ふるさとを愛する子

めざす学校像

すべての子どもが楽しく学ぶ学校
 すべての子どもが安心して生活できる学校
 すべての子どもが生きる力を伸ばす学校

みんなが楽しい学校

学ぶ楽しさ 頑張る楽しさ
 つながる楽しさ 伸びる楽しさ

めざす児童像

【明朗】明るく朗らかで心豊かな子
 【健康】心身ともに健康でたくましい子
 【創造】自ら考え創造しようとする子

豊かなつながり

〈重点目標〉

- ◎いじめ、不登校の未然防止
- レジリエンスを育む取組

学びを支える

〈重点目標〉

- ◎対話を大切にした児童が主役の授業づくり
- ICTを活用した授業実践

健やかな心身

〈重点目標〉

- ◎健康的で安全な生活習慣の獲得
- 日常的に運動に親しむ児童の育成

信頼される学校

〈重点目標〉

- ◎ふるさと教育の充実
- 開かれた学校づくり

〈具体的な取組〉

- ・安心して生活できる居場所づくり
- ・マイノリティを大切に話し合い活動
- ・あたたかい心の交流を生む場の工夫(学級・異学年・縦割り・交流学級等)
- ・自己決定の機会の充実
- ・複数教員による教育相談や支援SC・SSW、関係機関との連携
- ・特別支援教育の充実
- ・レジリエンス教育の実践
- ・児童が自分の強みを知り「自分らしさ」を感じられる取組

〈具体的な取組〉

- ・必然性や目的意識を実感できる課題と展開
- ・アウトプット⇄インプットの相乗効果をねらった授業づくり
- ・自己決定する機会の確保
- ・フリートークなどの多様な話し合いの場の充実
- ・集会でのスピーチタイム、異学年間の発表や交流
- ・ICT活用により学びやすい環境を整え、個に応じた指導や児童同士の学び合いのある授業
- ・家庭学習における一人一台端末の活用

〈具体的な取組〉

- ・GIGA ワークブックさかい2025の活用
- ・スマートルールをもとにした各家庭でのルールの作成
- ・家庭への情報モラルに関する情報提供
- ・防災防犯教育の内容の充実
- ・ここからチェックの継続
- ・縦割り遊び、異学年でのスポーツ交流
- ・はぴりゅうスポーツ広場の積極的活用
- ・児童の活動場所・活動時間の確保・工夫

〈具体的な取組〉

- ・大石地区や坂井市のよさを理解し、地域の人と繋がり関わる機会を充実
- ・地域の自然や施設等を活かした校外学習の実施
- ・地域の歴史や自然、産業について、地域人材を活かした学習を充実
- ・地域ボランティアの活用・交流
- ・地域や保護者との対話の機会の確保
- ・積極的な情報発信(HP・学校学年通信など)
- ・保幼小接続、小中連携の推進

〈数値目標〉

- ★まわりの友達と仲良くし、安心して生活することができた児童 90%以上
- ★学校に相談できる人がいると答える児童 80%以上
- ★いじめや差別を見過ごさなかった児童 80%以上
- ★レジリエンス教育を通して、自分のよさを見つげられたと答える児童 80%以上

〈数値目標〉

- ★対話を通して考えが深まった話し話す力がついたりしたと実感する児童 85%以上
- ★授業で自分の考えて選んだり方法を考えたりして学習に取り組めた児童 90%以上
- ★ICTの活用で、学習内容がわかるようになったと実感する児童 90%以上

〈数値目標〉

- ★SNSやインターネットの危険性についてわかり、気をつけて生活できた児童 80%以上
- ★地震や火事などの危険がわかり、真剣に訓練に取り組んだ児童 90%以上
- ★様々な活動の中で、運動する楽しさを感じられた児童 90%以上

〈数値目標〉

- ★地域の人との学習の中で、ふるさとのよさを見つげられた児童 90%以上
- ★地域人材・施設を活用した職員 90%以上
- ★学校からの積極的な情報発信を受けて、学校でどんな教育活動が行われているかわかったと答える保護者 80%以上